提出順	9	発言順	9	令和4年 5月 30日 午前・午後 8時 56分受領

（3枚中No.1）

令和　4年　5月30日

（宛先）安曇野市議会議長　　平林　明

安曇野市議会議員　　小林　陽子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　4年安曇野市議会　6月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 ☑総務部　□政策部　□市民生活部　□福祉部　□保健医療部 ☑農林部　☑商工観光スポーツ部　□都市建設部　□危機管理監 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	西山山麓の市施設の活用について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

西山山麓には、数年前に整備された「八面大王の足湯」「温泉公園」、日帰り入浴施設のほか、農産物直売所など市施設が集中している。一体的に活用し、市民やウィズコロナで戻りつつある観光客に、より利用しやすいエリアとして整備することについて伺う。

1．これら市施設のある西山山麓エリアは、市の重要な観光拠点と考えるが、市長の見解を伺う。

2．当該エリアの施設間の連携や、付随設備等の共有・整備などはどうか。一体的な運用が図られているか。

3．

農産物直売所は、農業生産者や加工業者、飲食店や宿泊業者など関係者の裾野が広いが、コロナ禍や経費高騰に加え、昨年の凍霜害など、経営への影響は広範囲である。市主導で、エリア活性化と合わせたテコ入れや支援策は。

提出順	9	発言順	9	令和 4 年 5 月 30 日 (午前)・午後 8 時 56 分受領

令和　4年　5月30日

（宛先）安曇野市議会議長　　平林　明

安曇野市議会議員　　小林　陽子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　4年安曇野市議会　6月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 ☑総務部　□政策部　□市民生活部　☑福祉部　☑保健医療部 □農林部　□商工観光スポーツ部　□都市建設部　☑危機管理監 □上下水道部　☑教育部　□他（　　）		
質問事項	がん対策と、若年層の療養支援対策について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

国のがん対策は、がん対策基本法のもと第三期がん対策推進基本計画が進められ、中学生の学習指導要領にがん教育が含まれるようになった。また、医療的ケア児や若い世代の慢性疾病患者等への対策もクローズアップされてきている。課題を適切に洗い出し、しっかりと支える体制を作ることは、安心安全のまちづくりに不可欠である。

1．若年層や女性の「がん」対策支援について伺う。

（1）本市におけるがん教育の状況はどうか。

（2）AYA 世代（15 歳～39 歳）は介護保険が適用されずがんの治療や療養にかかる費用の出費が厳しいときく。患者や家族へのサポートはどうか。

（3）ウィッグや人工乳房等の助成は。

2．医療的ケア児や若い世代の慢性疾病患者等への支援について伺う。

（1）医療的ケア児への対策は国や地方自治体の責務となったが、県立こども病院のある本市における状況と支援体制はどうか。家族への支援はどうか。

（2）災害時の避難やサポートについてはどのような対策が計画されているか。

（3）周りの市民の理解を高め、支援に役立てるため、ガイドブック等の作成は。

提出順	9	発言順	9	令和 4年 5月30日 午前・午後 8時56分受領

（3枚中No.3）

令和　4年　5月30日

（宛先）安曇野市議会議長　　平林　明

安曇野市議会議員　小林　陽子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　4年安曇野市議会　6月定例会		
発言の方法	☑一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	☑市　長　□副市長　☑教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　□政策部　□市民生活部　□福祉部　□保健医療部 □農林部　□商工観光スポーツ部　□都市建設部　□危機管理監 □上下水道部　☑教育部　□他（　　）		
質問事項	ヤングケアラー対策について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

厚生労働省の発表によると、家族の介護などを日常的に行うヤングケアラーが中学生の17人に1人にのぼるという衝撃の内容である。本市におけるヤングケアラー対策について伺う。

1．本市におけるヤングケアラーの状況はどうか。

2．県と市町村が連携して支援に乗り出すとのことだが、どんな支援策となるか。

3．周囲や子ども自身が、ヤングケアラーであることに気づくには、専門のカウンセラーが日常的に接し変化を見出すなど、きめ細かな支援が必要と思われる。カウンセリングの状況について、課題や対策を伺う。